

子ども多文化共生センター通信(テラたま通信)

Multicultural Children's Center News

第78号

発行元 子ども多文化共生センター (Tel. 0797-35-4537)

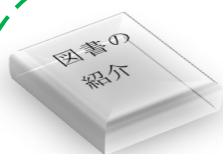
発行日 2021(令和3)年3月24日(水)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



テラたま
(イメージキャラクター)

2020年度も早いもので残りあとわずかとなりました。今年度は学校においては新型コロナウイルスの感染拡大により、その対応に心身ともに大きな負担を強いられる1年となりました。全国の学校が一斉休校になった3月には、まさか、コロナの感染が1年にわたって続くとは夢にも思いませんでした。部活動の大会や、修学旅行等多くの学校行事が縮小、中止を余儀なくされ、当たり前であったことが当たり前でないと気づかされました。その一方でオンライン授業の進展など学校のあり方が大きく変わる年になりました。現在、医療従事者を対象にワクチン接種も始まりましたが変異株の発生もあり、まだまだ、先は見通せません。一刻も早くこの状況が収束し、来年度こそ、通常の学校生活に戻り、子どもたちがのびのびと安心して日常生活を送れるように願っています。



『日本語のできる外国人児童生徒とのコミュニケーション 場面別学校生活支援ガイド』

(高島 幸太(たかしま こうた) 著 学事出版)

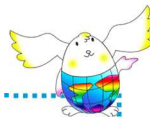
日本に来て間もない子どもが日本人にとって当たり前だと思っている事柄を奇妙に感じるが多々あるのは言うまでもない。それは学校生活においても例外ではない。例えば、教室の掃除を児童生徒がするという事などである。なかには、掃除のしかたがわからず、その場に立ちすくんでしまう子どももいるであろう。その時、あなたはその子どもに対してどのように言葉をかけ、どう対応するだろうか。本書では、給食や掃除など、外国人児童生徒等が奇妙に感じるであろう日本の学校のさまざまな場面において、具体的に会話例をあげ、日本語でのポイントを簡潔に示すことにより、どのような表現方法を使いどのように接すればいいかを具体的にわかりやすく説明している。外国人児童生徒等とのいろいろな場面での日本語コミュニケーションの一助となる一冊である。



★2020年度多言語相談員派遣事業を振り返って

今年度2年目になる多言語相談員派遣事業ですが、おかげさまで、県内のたくさんの小中高、特別支援学校に多言語相談員を派遣し、来日間もない、日本語の理解が十分でない保護者の方を支援させていただきました。

従来、来日間もない、日本語の理解が十分でない児童生徒の支援を子ども多文化共生サポーターが行ってききましたが、学校現場において、保護者面談、教育相談等、保護者への通訳を必要とする場面が多々あり、保護者への通訳を行うことが保護者の支援だけでなく、児童生徒の支援にもつながるという考えのもと、昨年度、子ども多文化共生サポーターのうち、派遣を希望する方を「多言語相談員」として、県内の通訳を必要とする学校へ派遣させていただくことになり、今年度2年目を終えようとしています。今年度はこの事業が県内各学校において認知が進んできたこともあり、各学校への派遣実績は昨年度に比べ大幅に増加し、のべ116回(人)14言語にもなっています。(3月24日現在)昨年度は59回(人)、8言語でした。引き続き来年度もこの事業を児童生徒の支援のためにご活用ください。



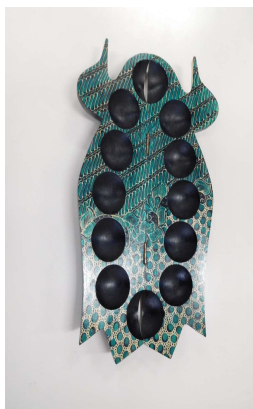
★センター所蔵資料の展示を行いました

3月1日（月）から15日（月）までの2週間、神戸市営地下鉄県庁前駅のショーウィンドウにセンター所蔵の資料を展示しました。スペースの都合上、民族衣装、民族楽器などごくごく一部を展示しただけですが、通勤で行き交う人々の中には足を止めて興味深く見入る人の姿も見られました。



センターにはたくさんの世界各国の資料があります。多文化共生教育に役立つ書籍などもあります。貸し出しもしていますので、是非ご活用ください。また民族衣装、世界各地の楽器、玩具などお持ちでしたらセンターに寄付をお願いします。

★民族玩具の紹介 スンカ（フィリピン）



「MANCALA」とも呼ばれるフィリピンのボードゲームです。アフリカ、中東から南アジア、東南アジアにかけて遊ばれてきた伝統的なゲームです。4千年の歴史をもち、世界最古の戦略ゲームとも言われています。

穴をくりぬいた木の板と貝殻やおはじきを使って遊びます。2人でボードをはさんで遊び、手前が自分の陣地、向こう側が相手の陣地で、各5個、ボードの両端にある両者それぞれの「ストア」を含めて合計12個の穴にコマ（貝やおはじき）を順番に「まいて」（入れて）いきます。相手と取り合い自分の「ストア」にできるだけたくさんコマをためたら勝ちです。

チェスと並んで人気があり、分析力と暗記力が必要とされ、運の要素も勝負を左右し、なかなか楽しめるゲームです。

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2

TEL : 0797-35-4537 FAX : 0797-35-4538 E-mail : mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。

来年度も子ども多文化共生センターをよろしくお願いたします。